

科目名	グローバル 経営戦略論特講	担当者	シナト 階戸 テルオ 照雄	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	企業がグローバル化していく中で、経営戦略の重要性は依然にも増して高まっている。一方、これまで日本を代表する優れた企業が、この経営戦略の重要性を認識しながらも、真にグローバルな経営戦略を実施してきたかについては、疑問の余地も残る。本講では、経営戦略の基礎から応用までの知識を修得するのが主な目的となる。また、日本企業の優秀企業の条件を探り、コーポレート・ガバナンスの重要性についての理解を深めることも本講の目的としたい。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営戦略における全社戦略，事業戦略，実践として戦略的経営を理解する。</li> <li>2. グローバル企業の成功戦略を解明するため，どのような戦略が必要となるのか，考察する。</li> </ol>		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本図書の十分な理解は前提となるものの，当初理解が困難なときには，比較的平易な参考図書（『MBA 経営戦略入門』等）を利用することにより，経営理論等の理解を早期に図ること。</li> <li>2. 参考図書のバーニー教授の「資源アプローチ」，W. チャン教授らの「ブルー・オーシャン戦略」は応用編として，理解を深めること。</li> <li>3. 基本書，できれば参考図書の十分な理解・修得は当然のこととして，これら教材以外の資料等をインターネット等も利用して，積極的に求めることが望ましい。</li> </ol>		
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 何度かのレポートを交換することで，修士論文を書く際に必要となる基礎的な事項を修得することができる。そのためには，レポートを極力早い時期より提出することが望まれる。</li> <li>2. 標準的なスケジュールとして，第1回目のレポートの草稿については，遅くとも最終提出期限1か月前を目安にすること。</li> </ol>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容を十分理解・修得し，レポートが作成されているかを基準とする。
	平常評価	20%	草稿段階から最終稿までのプロセスを含む取組みを評価基準とする。
履修者への要望	経営・経済コースの経営部門のコア5科目の1つであり，他の科目（現代ファイナンス論特講，マーケティング論特講，アカウティング論特講，人材マネジメント論特講）と合わせて履修することが望ましい。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： グロービス・マネジメント・インスティテュート 教材名： 『MBA経営戦略』（ダイヤモンド社，1999年） ISBN:978-4-47-837243-2 2,800円+税 著者名： 浅川和彦 教材名： 『グローバル経営入門』（日本経済新聞出版社，2003年） ISBN:978-4-53-213260-6 2,800円+税 前期は経営戦略の概念を十分に理解することに重点をおき，経営戦略における基本的な分析ツールを使いこなせることを目標とする。その後，グローバル企業の戦略につき，実例に基づいた「成功要因」を考える。
参考図書	内田学『MBA経営戦略入門』（ダイヤモンド社，2005年） ISBN:978-4-47-837459-7 1,800円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（上）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837452-8 2,400円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（中）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837453-5 2,400円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（下）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837454-2 2,400円+税 チャン・キム，レネ・モボルニュ『ブルー・オーシャン戦略』（ダイヤモンド社，2013年）ISBN:978-4-47-802467-6 1,900円+税
履修上のポイント	1. 経営戦略における全社戦略，事業戦略，実践として戦略的経営を理解する。 2. グローバル時間の成功戦略を解明するため，どのような戦略が必要となるのか，考察する。 3. 基本図書の十分な理解は前提となるものの，当初理解が困難なときには，比較的平易な参考図書（『MBA経営戦略入門』）を利用することにより，経営理論等の理解を早期に図ること。 4. 参考図書のバーニー教授の「資源アプローチ」，W. チャン教授らの「ブルー・オーシャン戦略」は応用編として，理解を深めること。
レポート課題 1	アンゾフのマトリックスにつき，述べよ。同時に，アンゾフのマトリックスに基づき，1社以上の企業を選び，その戦略を説明せよ。 <b>留意点：</b> アンゾフのマトリックスの弱みについても，論述のこと。
レポート課題 2	日本企業のグローバル戦略の課題は何か，を平易に論述すること。 <b>留意点：</b> 1社以上の日本企業を選び，論述のこと。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 新原浩朗 教材名： 『日本の優秀企業研究』（日本経済新聞出版社，2006年） ISBN:978-4-53-219349-2 762円+税 著者名： ラム・チャラン 教材名： 『取締役が会社の価値を高める！』（税務経理協会，2006年） ISBN:978-4-41-904627-9 2,000円+税 後期は日本企業の競争優位の条件を更に深く考察する。その考察の中で，現在日本企業の課題となっているコーポレート・ガバナンスのあり方に焦点を絞ること。
参考図書	全国社外取締役ネットワーク編著『〈社外取締役〉のすべて』（東洋経済新報社，2004年） ISBN:978-4-49-255514-9 1,800円+税
履修上のポイント	1. 日本企業の競争優位の条件・課題を多角的な観点より，考察する。 2. コーポレート・ガバナンス（企業統治）とは何か，を理解する。 3. 企業における取締役会・社外取締役の役割につき，理解を深める。 4. 世界的なコーポレート・ガバナンスの流れについての知識を深める。
レポート課題 1	日本企業の優秀企業の条件の中で，重要と思われる条件をいくつか指摘し，論述すること。 <b>留意点：</b> 1社以上の日本企業を選び，具体性を持たせること。
レポート課題 2	コーポレート・ガバナンスの意義を述べよ。 <b>留意点：</b> コーポレート・ガバナンスをもって，いかに競争優位が実現できるのか，を説明のこと。